

教科別授業改善プラン（図工科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1)成果

- ・ICTの活用により、視覚支援が充実したことで細かい描写や動きまで情報共有できた。
- ・タブレットを活用した鑑賞授業では、情報共有が容易になり活動が活発になった。

(2)課題

- ・誤った用具の扱い方や使い方をしている児童が多く見られた。
- ・自分の思いや想像を生かして作品づくりに取り組むときに、困難さを抱える児童もいた。
- ・鑑賞において見方や感じ方を深めていくこと。

2 重点課題

1年	<ul style="list-style-type: none">・道具や用具の正しい扱い方を知ること。・つくりたいもののイメージを明確にすること。
2年	<ul style="list-style-type: none">・はさみやのり、筆などを適切に使って、作品づくりすること。・つくりたい作品のイメージをもち、自由な発想で作品を仕上げること。・作品を見合って、お互いの作品の面白さや工夫について感じ取って伝えること。
3年	<ul style="list-style-type: none">・前学年までに使った材料や、用具を使って工夫して表すこと。・想像したことをもとに、自分なりの見方や感じ方を広げること。
4年	<ul style="list-style-type: none">・前学年までに使った材料や、用具を使った経験を生かし、活動すること。・想像したことや感じたことをもとに、自分なりの発想や構想を広げること。
5年	<ul style="list-style-type: none">・前学年までに使った材料や、用具を使った経験や技能を総合的に生かして、活動を工夫すること。・表現したいことのイメージをもち、創造的に発想や構想すること。
6年	<ul style="list-style-type: none">・前学年までに使った材料や、用具を使った経験や技能を総合的に生かして、主体的に活動を工夫すること。・表現したいことのイメージをもち、創造的に発想や構想をし、自分らしい表現を追求していくこと。

3 授業改善策

1年	<ul style="list-style-type: none">・絵画材（クーピーやクレパス、絵の具など）や用具（はさみやのりなど）の使い方の基礎を繰り返し指導する。・活動前に見通しがもてるように、作業の流れを明確にしておく。・児童がイメージしやすいように、発想の基となるものを複数提示する。・友達の作品の良いところに気付き、その気付きを自分の作品に生かすことができるよう、活動途中や活動後の鑑賞の時間を充実させる。
----	---

2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵画材や用具（はさみ、のりなど）に十分慣れるように、活用する機会を増やす。 ・ 写真などを活用し、自分が思い描くイメージをつかませてから、制作させる。 ・ 友達の作品の良いところを気付き、その気付きを自分の作品に生かすことができるよう、活動途中や活動途中で鑑賞の時間をもつ。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の発想が広がる題材設定の工夫をする。 ・ 前学年に使用した道具や材料を、積極的に使えるような題材を設定する。ICT機器を使って、道具の使い方の確認もできるようにする。 ・ タブレットを活用して作品記録の保存や鑑賞などを行う。また、工夫した点や発見したことなどを、発表させる機会を多く設ける。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想像が広がるような導入の工夫をし、イメージを膨らませる。また、アイディアスケッチを描いて、表したいことを見付けさせる。 ・ 前学年に使用した道具や材料を、児童自らが選択できるように用意しておく。ICT機器を使って、道具の使い方の確認もできるようにする。 ・ ICT機器を活用して作品記録や鑑賞などを行う。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の発想が広がる題材設定をする。つくってみたい作品を考え、アイディアスケッチに描かせる。また、分からないことは、本やタブレット端末で調べ、イメージを広げる。 ・ 前学年に使用した道具や材料を、児童自ら選択できるように用意しておく。ICT機器を使って、道具の使い方の確認もできるようにする。 ・ ICT機器を活用した授業を取り入れ、振り返り、作品記録や鑑賞などを行う。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器を使って、導入の工夫を行い、作品や活動について興味をもたせ、イメージを広げる。また、活動について見通しをもたせる。 ・ 制作する作品に対して、感じたこと、思い付いたことを、アイディアスケッチに描かせる。また、分からないことは、本やタブレット端末で調べたりして、イメージを広げる。 ・ 表現したいものに合わせて適切な道具や材料を選択できるようにする。 ・ ICT機器を活用した授業を取り入れ、振り返り、作品記録の保存、鑑賞などを行う。
全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作する過程で、一人一人に声掛けやアドバイスをする。